謹賀新年
今年もよろしくお願いします
東京土建一般労働組合練馬支部

けんせつ北部
定価三十円
購読料は組合費に含まれています。
発行所
東京土建一般労働組合
城北ブロック会議
東京都豊島区西池袋5-22-15
板橋（3963）5325
練馬（3825）5522
豊島（3986）2471
北（3902）7121
発行人　代表者　川合 正人
発行日1日、9日、17日、25日

工務店と組合〝後継者二刀流〟で 夢に向かって

戸田 海秋さん（石神井分会後継者対策部長）

後継者バスハイクでの戸田海秋さん

「みなさん楽しんでますか。『東京土建って？組合って何ぞや』のミニ学習を行いまーす」――昨年8月6日に106人が参加した夏の後継者企画「地引網&BBQ交流バスツアー」、バスの車中で組合のミニ学習を担当した石神井分会後継者対策部長の戸田海秋（かいしゅう）さん。32歳の大工です。後継者対策部ですべてを運営したバスツアーで、しっかりと役割を担いました。

大工の家系で生まれ育つ

戸田さんは、富士見台にある㈲戸田工務店の後継者。「遡れるのはひいおじいちゃんまでですが、そこから数えても私で4代目」という大工の家系に生まれ育ちました。

おじいちゃんはもともと高知の出身。ところが、東京で一戸建てを建ててほしいとの依頼で東京へ来たところ、仕事が施主さんに気に入られ、『高知に帰ったら誰が家の面倒を見てくれるんだ』との施主さんの言葉で、東京に残り、工務店をすることになった」そうです。

小学生の時に「大工になる」

大工になって工務店を継ぐことに抵抗はなかったですかときくと、「小学生のときから大工になるって決めていた」ときっぱり。「小さい頃から、じいちゃんとお父さんが仕事をする下小屋に遊びに行っては、竹とんぼとか作ってもらっていました。図工が大好きで、特に木で何か作るのが大好きだった」といいます。

以来、建築の道をまっしぐら。大学を出ると、一級建築士の資格取得に必要な実務経験を積むために民間の住宅会社に就職。その後実家の工務店に戻り、いまでは32歳にして一級建築士、一級建築施工管理技士、第二種電気工事士の資格を持っています。

5年前に実家の工務店での仕事を始めて、まず驚いたのは、「昔からのお客さんを通じて、新築の依頼がちょくちょくあることだった」という戸田さん。「ハウスメーカーが主流のいまどき、正直、地域の工務店に新築の話は来ないと思っていた」といいます。

お父さんの宏生さん（写真右）と

お父さんと組合の仲間と一緒に

お父さんの宏生（ひろお）さんと一緒に現場に出ることもあります。お父さんも東京土建の40年来の組合員。海秋さんが事業所対策委員のときに知り合った他分会の仲間からの仕事も多いといいます。そうした現場で、お父さんと二人で組合の仲間と一緒に施工にあたったこともあります。

支部運動会で娘さんと一緒にかけっこ（写真右）

町場の未来はまだまだある

「いまは、図面が必要な仕事は、お客さんとの打ち合わせ、図面の作成など、現場が始まるまでは自分が引き受けています」という戸田さん。設計から手掛けると一棟に半年以上はかかるので、昔からのお客さんからの紹介が優先で、他の人の依頼を断ることもあるといいます。

住宅デーで木工教室を担当

現在も、設計から始まる新築の仕事3件を手掛けている戸田さん。「もちろん細かいリフォーム仕事が中心ですが、いまどきホームページもつくっていない町場の工務店に新築を頼むお客さんがいることにびっくりしますが、町場の未来はまだまだあると思っています」と語ります。

分会住宅デーで木工教室

石神井分会の後継者対策部長としても活躍しています。昨年11月の分会住宅デーでは、パーツから自分で作った貯金箱の木工作教室を担当。「寒さでお客さんが少なかったのが残念だったけど、喜んでもらえたと思います」。

昨年9月の支部のミニ運動会には家族みんなで参加、1歳の娘さんと一緒にかけっこに挑戦しました。奥さんは保育士さん。共働きなので、娘さんのお風呂は戸田さんの担当とのことで、子ぼんのうな一面もみせてくれました。後継者対策部の企画について、「家族みんなで参加できるのが一番の魅力。娘も2歳になったので、今年は家族みんなで参加したい」と語ります。

宅建の資格に挑戦

最後に今年の抱負について聞きました。

「土地や建物の取引にくわしくなりたいので、宅建（宅地建物取引士）の資格を取りたい」と語る戸田さん。「将来は、土地を仕入れて自分の設計で建売をつくりたい」とのこと。戸田さんは「野望」といいますが、夢に向かって今年も着実な一歩を刻みそうです。

活動者会議のパネリスト6人が再び！

新春座談会　2024年の組合と仕事を熱く語り合う

昨年9月に開いた「次世代の組合・分会づくりをめざす」支部活動者会議。組合員6人によるパネルディスカッションを行い、若手組合員との対話の経験や、事業主の立場から社員と一緒に組合活動に参加している経験などが縦横無尽に語られました。参加者からは、「めちゃわかりやすくて、おもしろかった」、「パネラーのみなさん、組合が好き、熱心。これからの建設業を担っていく方たちと思います」と、たいへん好評でした。そこでパネリスト6人に再び集まってもらい、活動者会議の後日談や新年の抱負をざっくばらんに語ってもらいました。

岡嶋明和さん（中村分会分会長・62歳）
豊原孝仁さん（石神井分会執行委員・50歳）
中山千里さん（田柄分会執行委員・51歳）
今成辰夫さん（学園分会執行委員・47歳）
小谷昭和さん（早宮分会執行委員・53歳）
斎藤志央さん（富士見分会事業所対策副委員・42歳）
（聞き手　編集部）

小谷さん

事業所の社員は「宝」であり「仲間」

――昨年の活動者会議のパネルディスカッションでは、分会役員の立場から若手の結集について岡嶋さんと豊原さん、働き盛り世代の立場から中山さんと今成さん、分会内事業所の事業主の立場から社員と一緒に組合活動に参加している小谷さんと斎藤さんに、それぞれお話をいただきました。はじめに、あらためて振り返って活動者会議はいかがでしたか。

斎藤　初めての経験でしたが、緊張はしなかったです。言いたいことはいっぱいあるんだけど、どこまで言っていいのか（笑い）、戸惑いました。

小谷　当日も現場に出ていて、パネルディスカッションの開始にぎりぎりセーフ。間に合ってよかったです。

豊原さん

岡嶋　最近は、若い社員は社員旅行にも付き合ってくれないといわれるなか、小谷さん、斎藤さんの会社では若い社員が日曜日でも組合の行事に参加している。中村分会は事業所が多いのですが、なかなか社長が寄せ付けてくれない。それが悩みですね。だから、小谷さん、斎藤さんの話を聞くと、うらやましかったです。拡大の打ち上げにも斎藤さんのところの社員が3人来ていて、同じテーブルだったので打ち解けて、終わってから一緒に飲みに行きました。

斎藤　社員旅行の話ですが、うちは一昨年、2泊3日で沖縄に社員旅行にいきました。ところが、運悪く台風で帰れなくなって、急遽、現場をキャンセル。だから、結構、リスクもあるんです。それでも今年はゴールデンウィークに一泊で貸し切り

――お二人の話を聞いていると、社員さんへの思いが伝わってきますね。

斎藤　社員は「宝」ですよ。社員がいなかったらできないですもん。社員に助けられている。

小谷　社員は「仲間」ですよね。

今成　僕も、小谷さんと斎藤さんの話の印象に残りました。社員の団結のために組合行事を使うとか、そういう目線で色々考えていることがよくわかって面白かったです。

――今成さんは、学園分会の徳島さんとの掛け合いもありましたね。

今成　「大好き」とかですかね（笑い）。学園分会のいいところだと思います。ベテランの徳島さんも、追廻さんもとても気さくに受け入れてくれますからね。

中山　僕も事業主なので、斎藤さん、小谷さんの話には刺激を受けました。仕事が忙しい中、社員には年末くらいは休ませてあげたいし、僕が言うと命令になっちゃうので、いままでは組合の行事に誘うのは遠慮していたんです。だけど、お二人の話を聞いて、社員の新しい一面も発見できるのではないかと思って、「断ってもいいんだけど、出てみない」と、遠慮しないで誘うようになりました。

岡嶋さん

豊原　いま、分会の役員を社長夫婦でやってもらっている事業所があるんですが、みんな組合員なんだから、ぜひ社員にも声掛けをしてくださいとお願いしたことがありま

住宅デー、奥さん、大手企業交渉のこと

中山　豊原さんは、若い世代への接近のしかたがすごく上手ですよね。

豊原　僕は、話すときにプライベートなことから、家庭の話から入るんです。でも、声掛けは一緒ですよ。「今度、住宅デーに来てね」って。「いや子供小さいから無理」ってなれば、「手伝いに来いとは言わないよ。遊びに来て。1時間子供連れて散歩に来てよ」って。3年後に手伝ってくれればいい。それで3年間、声をかけ続ける。3年経って、子供が3歳になって走り回れるようになったら、「子供連れて来いよ」と言うと連れてくるんですよ。そんなことの積み重ねで、去年、住宅デーを後継者主体の企画で運営できるようになりました。

斎藤　住宅デーは、富士見台分会はたくさんの来場者でにぎやかでした。チラシも分会で手配りしました。自分は配れなかったですけど、うちは事務員2人と私の奥さん3人で配りました。娘の幼稚園でも手渡しして、当日は娘の友だちも結構来てくれました。社員も分会の「打ち上げ」を楽しみに参加していました。

斎藤さん

岡嶋　斎藤さんが富士見台分会の行事に参加するようになったきっかけは、何だったんですか。

斎藤　市瀬さん（分会教宣部長）が、いきなり家に来たんです。分会紙に載せる記事の取材をしたいと。「何それ？」って感じだったんですけど。そのあと、こぶし公園で住宅デーがあるから一回見にきたらと誘われて、従業員を連れて見に行ってみたら「手伝ってくれ」と。それで、最初に手伝いにいったのが光が丘公園での支部60周年フェスタだったんです。にぎやかで楽しかったので、それからですね。

今成　私の後の後継者部長を引き受けてくれた方が、運動会、住宅デーに家族で参加してくれました。若い人たちもパラパラですが出てきてくれているのは、ありがたいと思います。新年早々に分会でバーベキューをやりますが、若い人たちが3人、4人と出てくれば、みんなで分担・協力して

中山さん

同世代、次世代を巻き込んだ運動を

――最後に今年の抱負をお願いします。

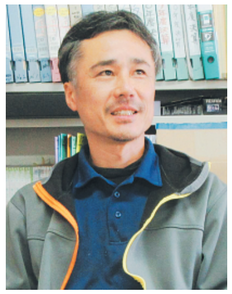
岡嶋　今年は、分会でも若手の後継者を集めるために、お金も使って、ぜひ分会の企画を考えていきたいと思っています。

小谷　分会のところでは、もうちょっと若返りしたいですね。ついでに執行委員も（笑い）。会社の方では、賃金どんどん上げてやりたい。やや上がり傾向にはあるんですけどね。組合の仲間からも仕事の声をかけてもらえるのは、ありがたいですね。

斎藤　いまはベテランの方が住宅デーでも何でも支えていますが、もう少し若い人がでてくれば、若い人なりのいろんな知恵や工夫も出てくると思うので、分会に若い人たちをよびこみたいですね。仕事では、社員のスキルアップを考えていきたいです。

今成　今年も、組合も仕事もなるべくひっそりと、ですかね（笑い）。インボイスだったり電帳法とか面倒で心配なこともあるので、パソコンを使いこなせるようになりたいと思っています。

豊原　抱負というか、いま考えているのは、何らかの形で後継者対策部長を分会の六役会議にも参加させたいなと思っています。ベテラン世代、現役世代、後継者世代の3世代で話をして、責任もそれぞれ分担しながら、みんなで一緒にやっていく体制をつくることが必要だと感じています。


今成さん

中山　全建総連の100万人署名をすすめたいですね。組合員はもちろんですが、組合員じゃない人、建設業じゃない人にも書いてもらえる署名だから、東京土建の旗を立てて、駅頭宣伝や、大型現場の近くのコンビニとか、居酒屋なんかでも署名してもらう運動をやってみたいです。現場内でも賃金の話をして、そうだよねって言われない人はいないですよ。現場でも署名集まると思っています。担い手確保に賛同するゼネコンにも協力してもらいたいくらいです。同世代、次世代を巻き込んだ運動をしていきたいと思います。

――きょうは、ありがとうございました。今年も一緒に頑張りましょう。

年頭あいさつ

支部65周年　昇り龍のごとく飛躍を

練馬支部執行委員長　福岡忠行

新年あけましておめでとうございます。日頃より組合諸運動へのご理解、ご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

ここ数年、ロシアのウクライナ侵攻に端を発し、世界の平和が脅かされるとともに、資材不足や物価高騰で私達の仕事とくらしを厳しさを増しています。加えて昨年は、多くの国民の反対の声にもかかわらずインボイス制度が強行され、今後の仕事とくらしさらなる困難が立ちはだかりました。

組合は、支部でのインボイス相談会の連続開催、そして秋の拡大月間中には分会での「インボイス駆け込み寺」相談会、制度強行後も制度の廃止をめざしつつ「インボイス対応塾」の開催など、支部・分会が一丸となって、仲間の悩みや相談に寄り添ってきました。

また、ミニ運動会の1日開催、秋の住宅デーを全分会でコロナ禍以前と同様に開催し、ここ数年の組合活動の困難を乗り越えるすべを学んだ一年となりました。

世の中は私達に思いもしない試練を与え、私達の足元を揺るがし、道をさえぎります。日常の生活、仕事にも容赦なくふりかかってきます。そんななか、ただ「大変だ」と大声でふれ回り泣くだけの人と、少しでも、一歩でも前へ進み、よりよい道をめざす人の未来は違います。私達はどちらを選ぶか、選択する力を持っています。

今年は、支部創立65周年を迎えます。昨年の活動者会議では、「支部65周年に向け、次世代の組合・分会づくり」をテーマに、多くの働き盛り世代の参加を得て、パネルディスカッションや分科会で議論を深めることができました。65周年の今年、昇り龍の如くさらなる飛躍を願っています。

結びに、組合員のみなさまのご健康とご活躍を祈念して年頭のあいさつとします。本年もよろしくお願い申し上げます。

日本母親大会2023

平和を守る運動の大切さ実感

日本母親大会に参加して

神尾恵美（支部女性の会会長）

全体会の記念講演の清末さんのお話は、今、戦争の真っ只中にいるガザの事。実際に自分が行って見たことなど、内容がとても深く心に残りました。民間人、子どもたちにもたくさんの犠牲者がでている戦争は何故なくならないのか？日本は憲法で戦争をしないと誓っていて、憲法に守られているのだとつくづく思いました。

私たちに出来る事は、平和を守るために署名の協力・運動や学習会などに出来る限り参加して活動していくことが大事だと改めて思いました。大会に参加させて頂き感謝しています。

11月25日・26日、第68回日本母親大会が山口市で開催され、全国からオンライン視聴を含め12000人が参加しました。練馬支部からは神尾恵美支部女性の会会長が練馬代表団（5人・東京全体190人）として現地参加。1日目の全体会の模様は練馬母親大会連絡会の29人（支部女性の会10人）が練馬支部会館でオンライン視聴しました。NGOの一員としてパレスチナ・ガザを同度も訪問している清末愛砂さんの記念講演で平和の大切さを学び、全国各地からの活動報告で運動交流をはかりました。

――中山さんは、今年も大手企業交渉に参加しましたね。

中山　大手企業交渉は3回目で、今回は飛谷組に行ってきました。パートナーシップという取り組みをゼネコンさんはちゃんと理解していて、前向きなかたちで活発に意見は出たんですけど、何かが決まったというわけではなかった。交渉では小さなことでもいいから具体的な成果をかちとっていくことが大事だと感じています。小さなことでもそれが積み重なって、5年後にはちょっと変わってきたなっていう実感が大事だと思います。

ただ、素晴らしいなって思ったのは、交渉団のなかに事業主さんがいて、「僕は、20歳の従業員に30万円出している。こんな零細企業が少しでも従業員の賃金を上げようとがんばっているんだから、あなたたち（ゼネコン）もできるでしょう」って言ったんです。まさに僕も思っていたことでした。担い手不足とかは向こうも同じように感じていましたから、ゼネコンが先頭きってやってください、そういう思いでした。

賃上げ・週休２日実現 建設業の明るい未来へ

全国の仲間と100万人署名を成功させよう

いま全国の建設の仲間が「持続可能な建設業の実現に向けた100万人国会請願署名」に取り組んでいます。練馬支部も3月まで組織人員の2倍をめざして取り組みます。

「募集しても人が来ない」「入職しても、すぐ退職してしまう」―建設業の人材不足は深刻です。建設技能者の減少が続くなか、建設技能者全体に占める29歳以下の割合は12%。このまま若年者の入職が先細れば建設産業自体の維持が困難となり、住宅・インフラなど国民生活は大混乱に陥ります。

全産業平均より10%低い賃金、労働時間が長く週に2日休めない。これでは若者はこの業界から離れるばかりです。

こうした建設業の危機は国も共有しています。国交省は9月に「賃金行き渡りの担保」など建設技能者の処遇改善のための方策を打ち出しました。こうした国の動きを後押しし、建設業の明るい未来を築くために、この「100万人国会請願署名」にとりくみます。

署名は一人で衆議院宛、参議院宛の2筆書けます。組合員、建設業以外の方も署名できます。家族・友人を含めた仲間の協力をお願いします。

全建総連 100万人 国会請願署名

① 建設労働者の雇用改善、能力開発の向上を図り、高い水準の賃上げの環境を整えること
② 若年者等の入職・定着を促進し、担い手確保・育成を推進すること
③ 建設キャリアアップシステム（CCUS）を普及促進すること

あったかフードバンク 活動報告

昨年11月23日、第18回目の「あったかフードバンク」が練馬支部会館で開催されました。今回も社会保障対策部より2人の参加があったほか、組合員からのカンパなどもお寄せいただき、ありがとうございました。

今回130人が来場し、通算の延べ人数で3000人を超える来場者数となりました。今回も申し込みを開始してからわずか17分ほどで定員に達し、また最近のお米配布に100人以上が来場する状況をみても、生活困窮者にとっては今まで以上に差し迫った状況にあることがわかります。

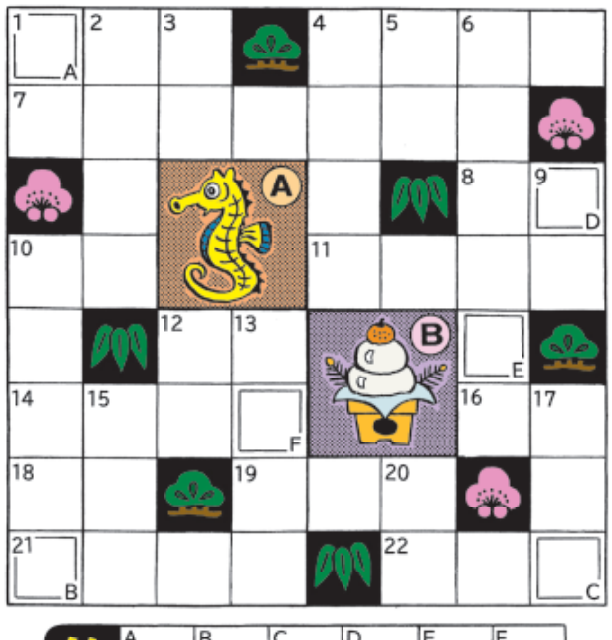
食料などを受け取った方からは「物だけでなく、皆さん親切なので、あったかフードバンクさんにお邪魔すると、その後すごく嬉しい気持ちになります。みなさまに感謝いたします」といったお礼のメールが次々と寄せられてきます。

今後も、ひきつづき支部事務所が役割を発揮するとともに、行政に対する働きかけを強めていきます。

来場者に好評のフードバンク名物焼きたてパン

図書券の当るクロスワードパズル

【作/モロズミ勝】



【問題】二重ワクに入る文字をA～Fの順に並べて、できる言葉はなに？

ヨコのカギ

1 その日に一番早く出発する……電車
4 砂漠の湧き水場
7 Ⓐのイラストがヒントです
8 早起きは三文の……
10 めでたい長寿動物
11 髪の毛のことです
12 三匹の子豚の最強の……はれんが造り
14 アメリカのデトロイトがある州。五大湖の州という愛称もあります。
16 麦……、焼き……
18 夏目漱石の三部作。「三四郎」「それから」、もうひとつは？
19 春の七草。カブのことです
21 インターネット上で対話できるジャック……、フォークと……

タテのカギ

1 非常に感心して驚くこと。ナニを巻く？
2 めでたいのは一富士、二鷹、三茄子（なすび）
3 竜の頭にもあります
4 年下の男のきょうだい
5 パスカルの言葉「人間は考える……である」
6 御用始めともいいます
9 ブーツは普通の……より丈が長い
10 Ⓑのイラストがヒントです
12 三重県北西部の忍者の里
13 自動車のエンジンが不意に動かなくなるトラブル
15 ……番組、……料金、……食堂
17 隣の……は青く見える
20 ……草がゆ、……不思議
22 ジャック……、フォ

クロスワードパズルの正解を答えてお送りいただいた方の中から、抽選で5人の方に図書カード（500円分）をお送りします。

【宛先】〒176－0023
練馬区中村北1－6－2　東京土建練馬支部「読者のひろば」係

【締め切り】2024年2月22日（木）支部到着分まで

余白にお便りやイラストを自由にお書き下さい。たくさんのご応募お待ちしております。

答　A　B　C　D　E　F